



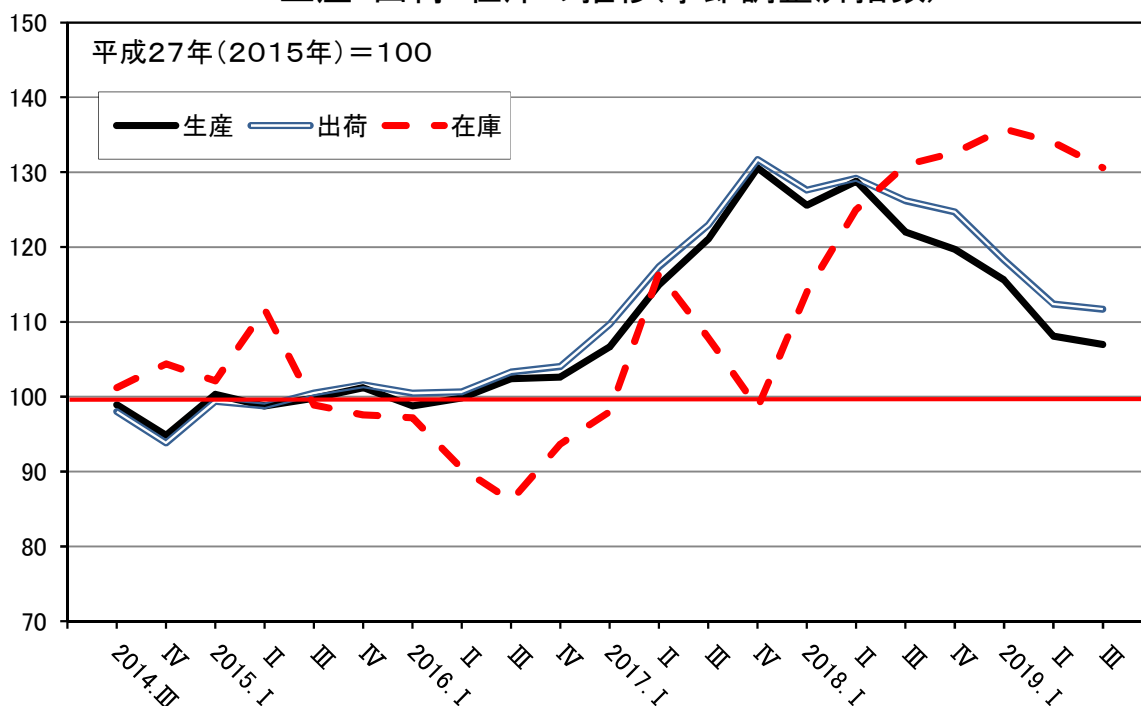
山 梨 県 鉱 工 業 指 数

2019年第Ⅲ期(7~9月)分

平成27年(2015年)基準

～生産が前期比 $\Delta 1.0\%$ 、出荷が $\Delta 0.6\%$ の低下。在庫が前期末比 $\Delta 2.5\%$ の低下。～

生産・出荷・在庫の推移(季節調整済指数)



山梨県 県民生活部 統計調査課

< 問い合わせ先 >

商工業 担当

電話 : 055-223-1341

FAX : 055-223-1347

E-Mail : toukei@pref.yamanashi.lg.jp

HP : https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/index.html

目 次

1 当期の概況	1
(1) 生産の動向	2
(2) 出荷の動向	5
(3) 在庫の動向	6
2 特殊分類の推移	7
3 全国との比較	8
○ 統計表	
四半期別業種分類指数	10
四半期別特殊分類指数	11
○ 利用にあたって	12

1. 当期の概況

当期の鉱工業指数は、

生産・・・107.0で前期比△1.0%の低下、前年同期比△12.3%の低下

出荷・・・111.7で前期比△0.6%の低下、前年同期比△11.4%の低下

在庫・・・130.6で前期末比△2.5%の低下、前年同期末比△0.3%の低下

平成27年(2015年) = 100

		季節調整済 指 数	前期(末)比 (%)	原 指 数	前年同期(末)比 (%)
鉱 工 業	生 産	107.0	△ 1.0	107.7	△ 12.3
	出 荷	111.7	△ 0.6	113.3	△ 11.4
	在 庫	130.6	△ 2.5	136.4	△ 0.3

※季節調整済指数とは、原指数から景気の動向とは関係ない季節的変動要素を調整した指数。

※前期比は、季節調整済指数を使用し、前年同期比は、原指数を使用して計算している。

生産・・・前期比は5期連続の低下、前年同期比は4期連続の低下

出荷・・・前期比は5期連続の低下、前年同期比は4期連続の低下

在庫・・・前期末比は2期連続の低下、前年同期末比は11期ぶりの低下

全国では、

生産・・・102.5で前期比△0.5%の低下、前年同期比△0.8%の低下

出荷・・・102.1で前期比△0.1%の低下、前年同期比△0.1%の低下

在庫・・・102.9で前期末比△1.7%の低下、前年同期末比0.9%の上昇

(1) 生産の動向

生産指数は107.0で前期比△1.0%の低下、前年同期比△12.3%の低下

業種別にみると、生産用機械工業、業務用機械工業、食料品工業等の8業種が上昇し、電気機械工業、金属製品工業、電子部品・デバイス工業等の8業種が低下した。(秘匿を除く)

○上昇した主な業種

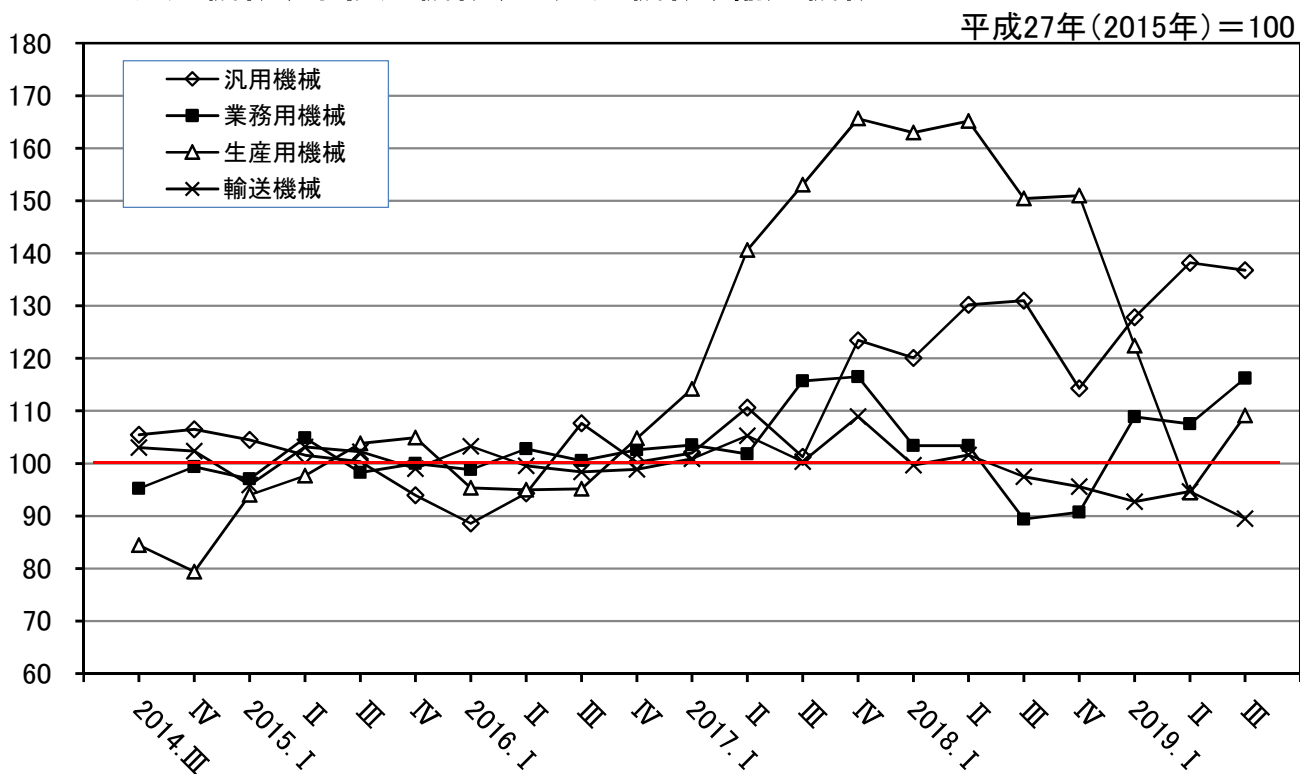
業 種	前 期 比 (%)	寄 与 度 (%ポイント)	細 分 類 業 種
生 産 用 機 械 工 業	15.6	2.77	半導体製造装置製造業 など フラットパネルディスプレイ製造装置製造業
業 務 用 機 械 工 業	8.1	0.31	医療用機器製造業 複写機製造業
食 料 品 工 業	1.0	0.15	ビスケット類製造業 など 果実酒製造業

○低下した主な業種

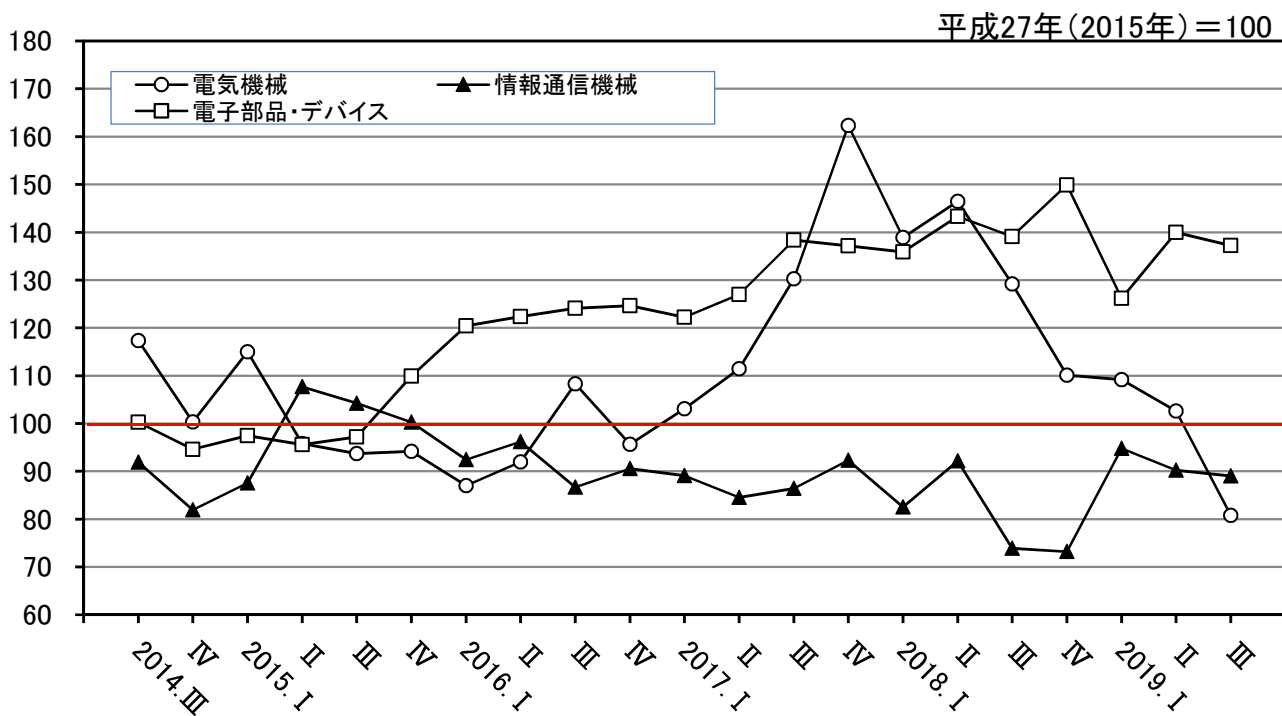
業 種	前 期 比 (%)	寄 与 度 (%ポイント)	細 分 類 業 種
電 気 機 械 工 業	△ 21.2	△ 3.36	その他の電子応用装置製造業 その他の電気機器製造業
金 属 製 品 工 業	△ 13.7	△ 0.86	建築用金属製品製造業 建設用金属製品製造業
電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	△ 2.0	△ 0.22	複合部品製造業 など 電子回路基板製造業

◎主要産業の生産動向(季節調整済指数)

○汎用機械、業務用機械、生産用機械、輸送機械

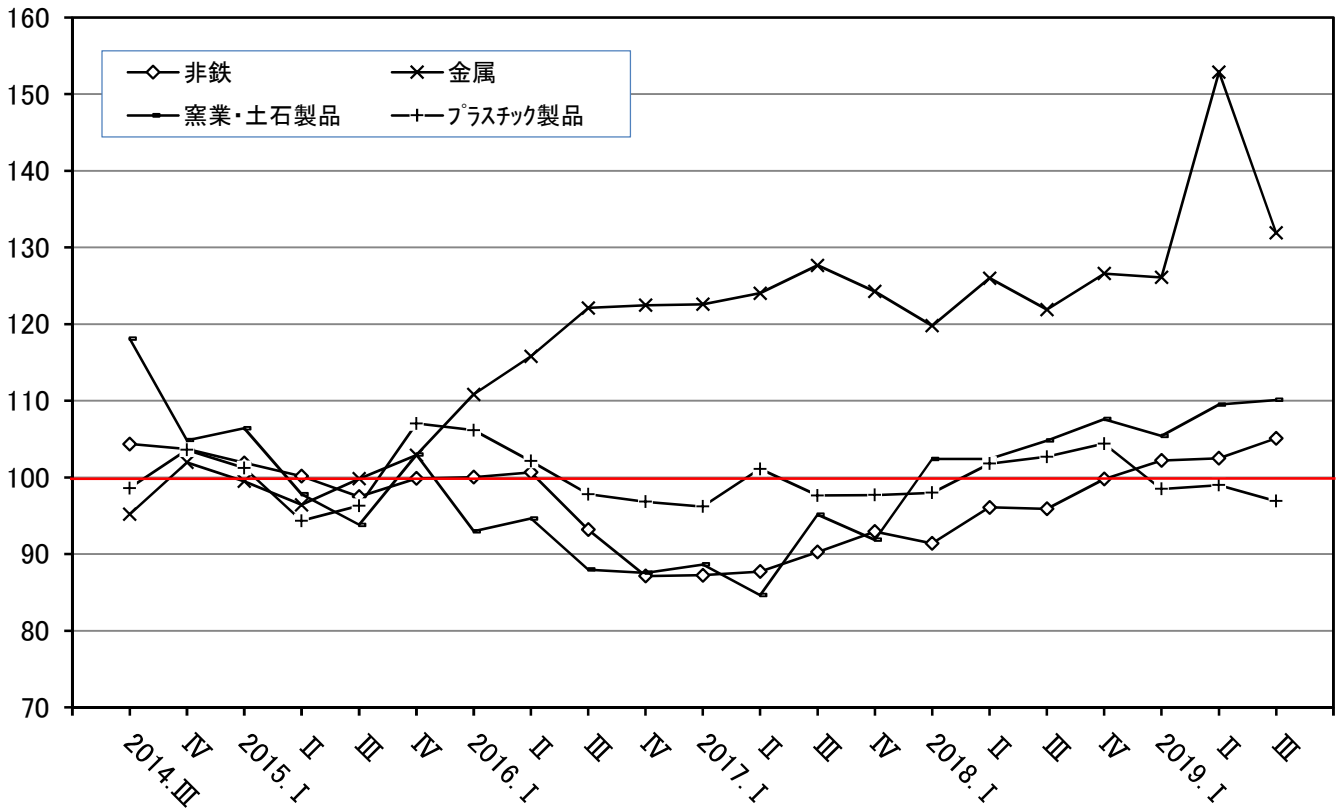


○電気機械、情報通信機械、電子部品・デバイス



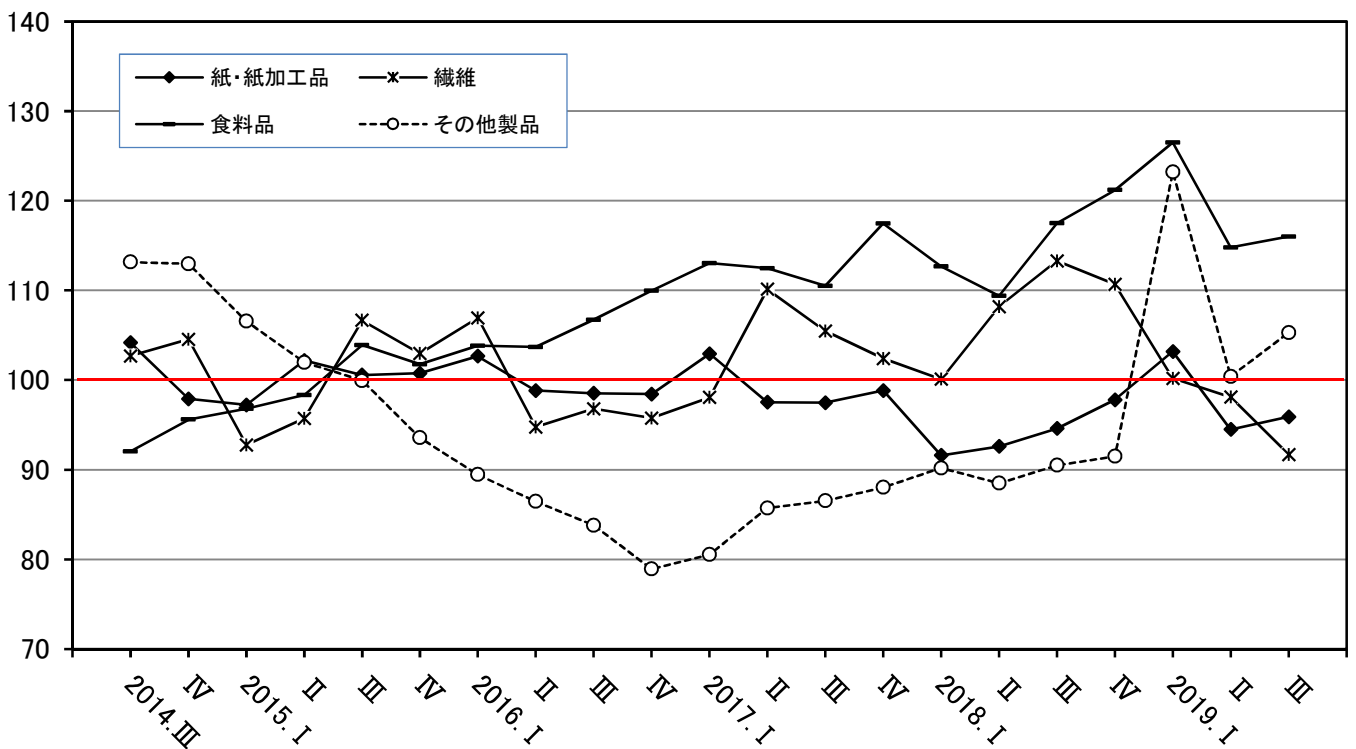
○非鉄、金属、窯業・土石製品、プラスチック製品

平成27年(2015年)=100



○紙・紙加工品、繊維、食料品、その他製品

平成27年(2015年)=100



(2) 出荷の動向

出荷指数は111.7で前期比△0.6%の低下、前年同期比△11.4%の低下

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、生産用機械工業、食料品工業等の7業種が上昇し、電気機械工業、情報通信機械工業、金属製品工業等の9業種が低下した。(秘匿を除く)

○上昇した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類	業種
電子部品・デバイス工業	17.0	1.81	半導体素子製造業 集積回路製造業	など
生産用機械工業	3.3	0.84	半導体製造装置製造業 フラットパネルディスプレイ製造装置製造業	など
食料品工業	0.9	0.12	ビスケット類製造業 果実酒製造業	など

○低下した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類	業種
電気機械工業	△15.4	△1.74	その他の電子応用装置製造業 その他の電気機器製造業	
情報通信機械工業	△14.4	△0.87	電子計算機製造業	
金属製品工業	△14.2	△0.69	建築用金属製品製造業 製缶板金業	など

(3) 在庫の動向

在庫指数は130.6で前期末比△2.5%の低下、前年同期末比△0.3%の低下

業種別にみると、金属製品工業、電子部品・デバイス工業、紙・紙加工品工業等の5業種が上昇し、業務用機械工業、窯業・土石製品工業、生産用機械工業等の5業種が低下した。(秘匿を除く)

○上昇した主な業種

業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
金属製品工業	27.4	1.94	製缶板金業 その他の金物類製造業
電子部品・デバイス工業	20.1	1.37	半導体素子製造業 電子回路基板製造業
紙・紙加工品工業	110.3	0.92	日用紙製品製造業 事務用紙製品製造業

○低下した主な業種

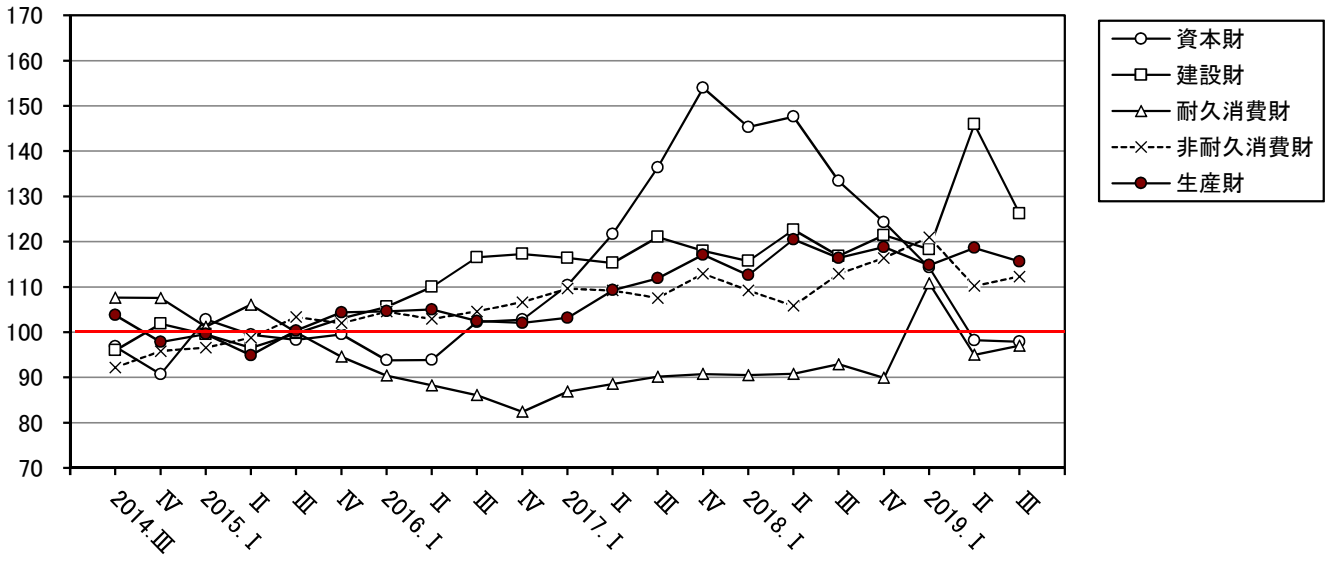
業種	前期比 (%)	寄与度 (%ポイント)	細分類業種
業務用機械工業	△18.3	△1.74	医療用機器製造業 サービス用機械器具製造業
窯業・土石製品工業	△47.9	△1.54	コンクリート製品製造業 その他のガラス・同製品製造業
生産用機械工業	△5.6	△0.91	半導体製造装置製造業 真空装置・真空機器製造業

2. 特殊分類の推移

◎特殊分類【生産・出荷・在庫グラフ】(季節調整済指数)

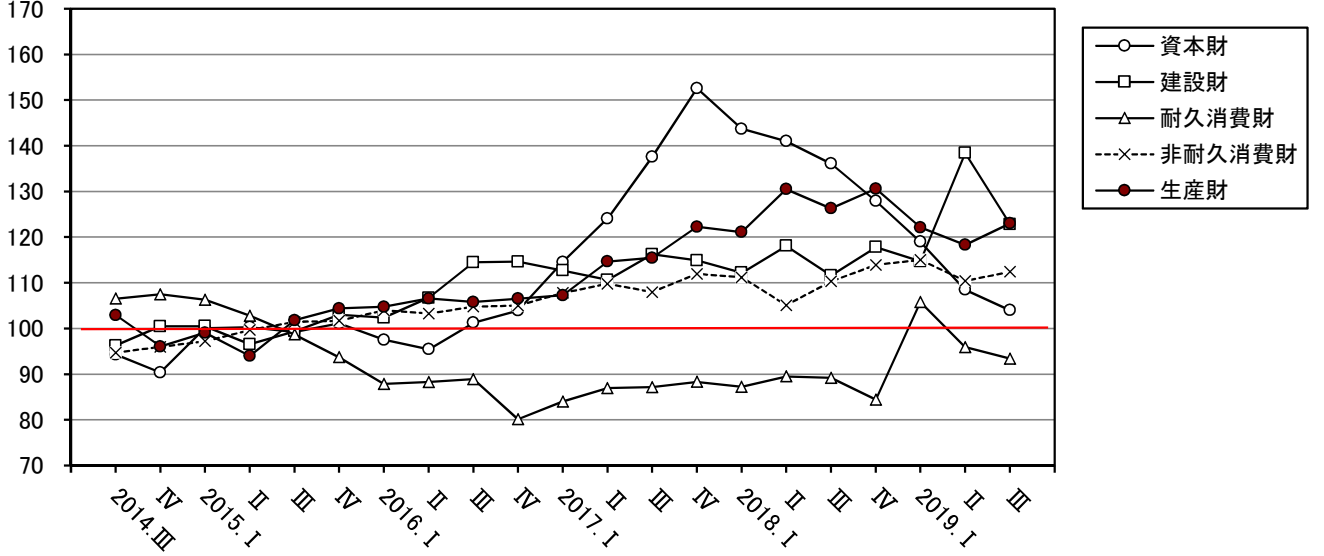
《生産》

平成27年(2015年)=100



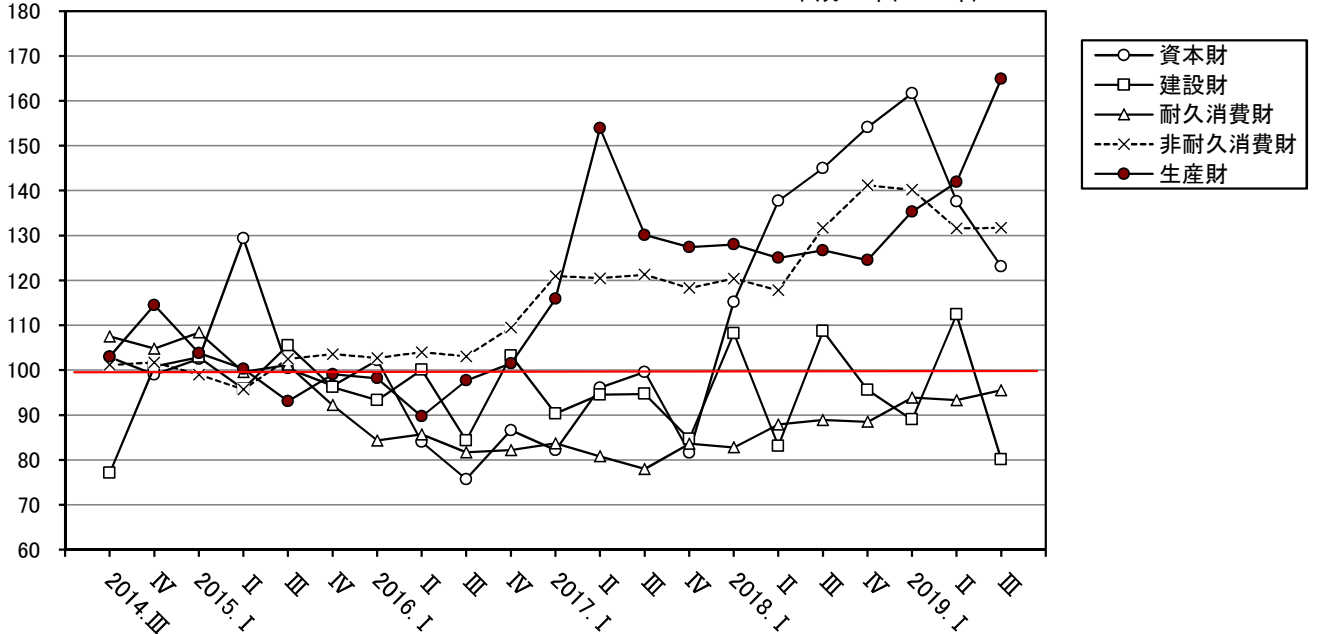
《出荷》

平成27年(2015年)=100



《在庫》

平成27年(2015年)=100



3. 全国との比較

(1) 生産

平成27年(2015年) = 100

年	期	山 梨				全 国			
		季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比	季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比
2015	Ⅲ	99.8	1.0	100.7	0.6	99.8	0.0	99.8	△ 0.7
	Ⅳ	101.2	1.4	99.4	6.5	99.7	△ 0.1	101.3	△ 0.3
2016	Ⅰ	98.8	△ 2.4	99.2	△ 1.9	99.7	0.0	100.1	△ 1.0
	Ⅱ	99.9	1.1	99.7	0.9	99.0	△ 0.7	96.8	△ 1.0
2017	Ⅲ	102.4	2.5	103.3	2.6	100.3	1.3	100.1	0.3
	Ⅳ	102.6	0.2	100.6	1.2	101.7	1.4	102.9	1.6
	Ⅰ	106.7	4.0	108.1	9.0	101.3	△ 0.4	102.5	2.4
	Ⅱ	114.9	7.7	115.1	15.4	103.2	1.9	101.1	4.4
2018	Ⅲ	121.1	5.4	121.9	18.0	103.2	0.0	102.6	2.5
	Ⅳ	130.6	7.8	128.8	28.0	104.4	1.2	106.1	3.1
	Ⅰ	125.6	△ 3.8	124.5	15.2	103.5	△ 0.9	104.2	1.7
	Ⅱ	128.8	2.5	130.6	13.5	104.3	0.8	102.4	1.3
2019	Ⅲ	122.0	△ 5.3	122.8	0.7	103.6	△ 0.7	102.7	0.1
	Ⅳ	119.7	△ 1.9	119.0	△ 7.6	105.0	1.4	107.5	1.3
	Ⅰ	115.6	△ 3.4	113.8	△ 8.6	102.4	△ 2.5	102.4	△ 1.7
	Ⅱ	108.1	△ 6.5	108.4	△ 17.0	103.0	0.6	100.0	△ 2.3
	Ⅲ	107.0	△ 1.0	107.7	△ 12.3	102.5	△ 0.5	101.9	△ 0.8

(2) 出荷

平成27年(2015年) = 100

年	期	山 梨				全 国			
		季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比	季節調整 済指数	前期比	原指数	前年 (同期)比
2015	Ⅲ	100.5	1.7	102.0	2.3	100.0	0.1	99.8	△ 0.8
	Ⅳ	101.6	1.1	100.8	7.8	99.3	△ 0.7	100.9	△ 1.0
2016	Ⅰ	100.5	△ 1.1	99.5	0.6	99.4	0.1	101.1	△ 1.7
	Ⅱ	100.7	0.2	100.1	1.8	98.8	△ 0.6	95.4	△ 1.1
2017	Ⅲ	103.3	2.6	104.7	2.6	99.8	1.0	99.4	△ 0.4
	Ⅳ	104.0	0.7	102.8	2.0	101.5	1.7	102.7	1.8
	Ⅰ	109.7	5.5	109.9	10.5	100.7	△ 0.8	103.2	2.1
	Ⅱ	117.4	7.0	117.3	17.2	102.3	1.6	99.0	3.8
2018	Ⅲ	123.0	4.8	124.5	18.9	102.4	0.1	101.7	2.3
	Ⅳ	131.7	7.1	130.8	27.2	103.1	0.7	104.9	2.1
	Ⅰ	127.6	△ 3.1	126.3	14.9	102.2	△ 0.9	104.0	0.8
	Ⅱ	129.2	1.3	129.1	10.1	103.6	1.4	100.6	1.6
2019	Ⅲ	126.2	△ 2.3	127.9	2.7	102.4	△ 1.2	101.4	△ 0.3
	Ⅳ	124.7	△ 1.2	124.9	△ 4.5	103.4	1.0	106.1	1.1
	Ⅰ	118.3	△ 5.1	116.3	△ 7.9	101.2	△ 2.1	102.3	△ 1.6
	Ⅱ	112.4	△ 5.0	111.0	△ 14.0	102.2	1.0	97.9	△ 2.7
	Ⅲ	111.7	△ 0.6	113.3	△ 11.4	102.1	△ 0.1	101.3	△ 0.1

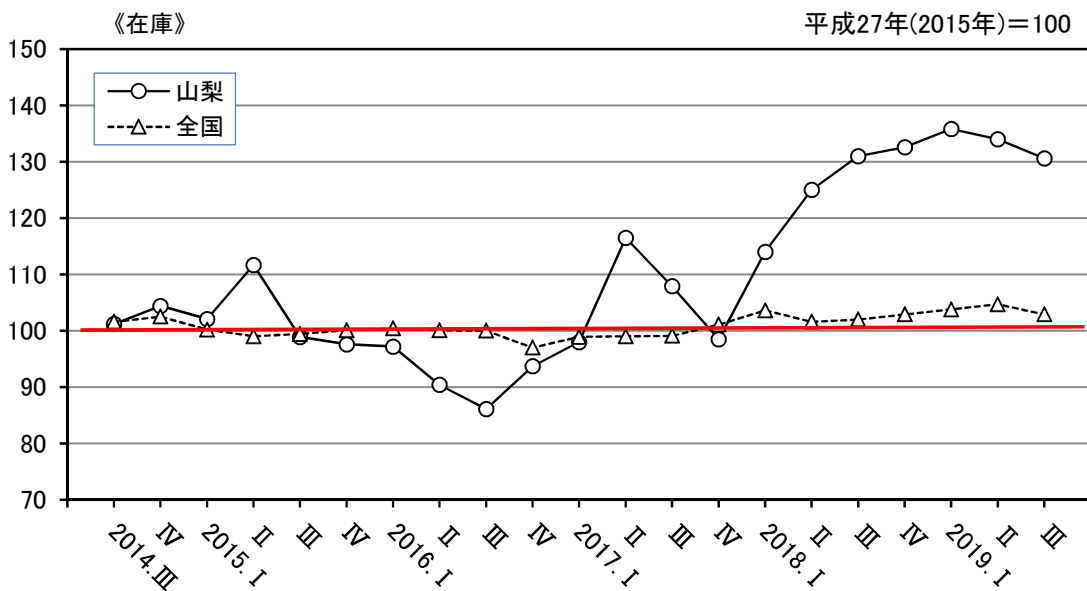
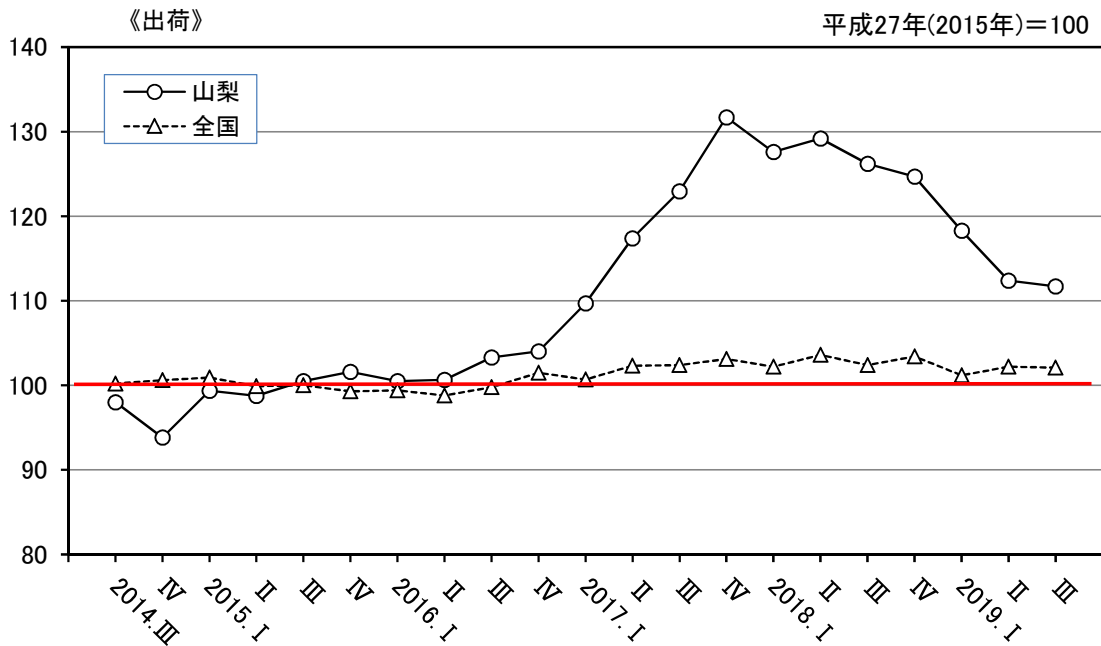
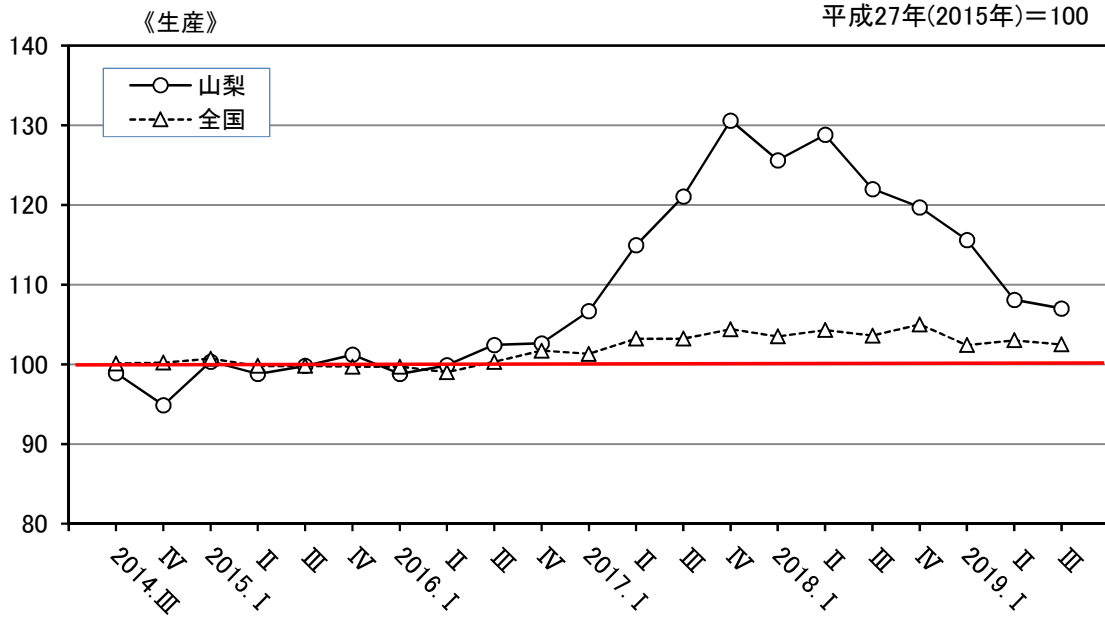
(3) 在庫

平成27年(2015年) = 100

年	期	山 梨				全 国			
		季節調整 済指数	前期末比	原指数	前年(同期) 末比	季節調整 済指数	前期末比	原指数	前年(同期) 末比
2015	Ⅲ	98.9	△ 11.5	102.8	△ 2.5	99.4	0.4	98.7	△ 2.2
	Ⅳ	97.6	△ 1.3	99.2	△ 6.6	100.1	0.7	98.0	△ 2.3
2016	Ⅰ	97.2	△ 0.4	89.3	△ 4.5	100.4	0.3	95.2	0.2
	Ⅱ	90.4	△ 7.0	91.2	△ 18.7	100.1	△ 0.3	100.4	1.2
2017	Ⅲ	86.1	△ 4.8	89.3	△ 13.1	100.0	△ 0.1	99.2	0.5
	Ⅳ	93.7	8.8	94.7	△ 4.5	97.0	△ 3.0	94.9	△ 3.2
	Ⅰ	98.0	4.6	90.2	1.0	98.9	2.0	93.9	△ 1.4
	Ⅱ	116.5	18.9	118.2	29.6	99.0	0.1	99.4	△ 1.0
2018	Ⅲ	107.9	△ 7.4	111.7	25.1	99.1	0.1	98.2	△ 1.0
	Ⅳ	98.5	△ 8.7	99.2	4.8	101.1	2.0	98.8	4.1
	Ⅰ	114.0	15.7	104.4	15.7	103.6	2.5	98.7	5.1
	Ⅱ	125.0	9.6	127.2	7.6	101.6	△ 1.9	101.9	2.5
2019	Ⅲ	131.0	4.8	136.8	22.5	102.0	0.4	101.6	3.5
	Ⅳ	132.6	1.2	130.1	31.1	102.9	0.9	100.5	1.7
	Ⅰ	135.8	2.4	124.4	19.2	103.8	0.9	98.9	0.2
	Ⅱ	134.0	△ 1.3	136.4	7.2	104.7	0.9	105.0	3.0
	Ⅲ	130.6	△ 2.5	136.4	△ 0.3	102.9	△ 1.7	102.5	0.9

※全国の指数は、経済産業省大臣官房調査統計グループ「生産・出荷・在庫指数確報」による。

◎全国指数との比較グラフ(季節調整済指数)



◎四半期別業種分類指数

平成27年(2015年)=100 季節調整済指数

	生産指数						出荷指数						在庫指数					
	2018年	2019年					2018年	2019年					2018年	2019年				
	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年同期比	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年同期比	10~12	1~3	4~6	7~9	前期末比	前年同期末比
	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月期末	月期末	月期末	月期末	(%)	(%)
鉱工業	119.7	115.6	108.1	107.0	△ 1.0	△ 12.3	124.7	118.3	112.4	111.7	△ 0.6	△ 11.4	132.6	135.8	134.0	130.6	△ 2.5	△ 0.3
鉄鋼業	108.7	109.7	106.2	110.1	3.7	2.7	107.7	108.7	105.0	109.4	4.2	3.6	—	—	—	—	—	—
非鉄金属工業	99.8	102.2	102.5	105.1	2.5	10.5	103.4	107.2	106.5	108.0	1.4	9.7	x	x	x	x	x	x
金属製品工業	126.6	126.1	152.9	131.9	△ 13.7	10.1	122.5	121.1	146.3	125.5	△ 14.2	8.3	78.5	87.1	76.0	96.8	27.4	7.4
汎用・業務用機械工業	103.3	119.5	124.5	128.6	3.3	13.4	104.3	115.8	128.1	126.4	△ 1.3	13.3	146.7	133.6	168.4	137.4	△ 18.4	△ 12.4
汎用機械工業	114.3	127.8	138.2	136.8	△ 1.0	4.6	114.3	128.3	138.8	138.5	△ 0.2	5.2	x	x	x	x	x	x
業務用機械工業	90.7	108.9	107.5	116.2	8.1	30.1	96.2	100.9	118.5	115.0	△ 3.0	24.4	146.6	135.1	168.7	137.8	△ 18.3	△ 12.8
生産用機械工業	151.0	122.4	94.4	109.1	15.6	△ 27.5	151.7	130.3	111.3	115.0	3.3	△ 25.5	267.7	264.3	205.2	193.7	△ 5.6	△ 19.1
電子部品・デバイス工業	149.9	126.2	140.0	137.2	△ 2.0	△ 1.2	185.2	151.6	136.7	159.9	17.0	△ 4.7	94.7	100.8	129.9	156.0	20.1	72.4
電気機械工業	110.1	109.2	102.6	80.8	△ 21.2	△ 37.7	111.3	110.6	104.7	88.6	△ 15.4	△ 30.1	x	x	x	x	x	x
情報通信機械工業	73.2	94.8	90.2	89.0	△ 1.3	18.9	74.7	84.6	99.1	84.8	△ 14.4	3.6	x	x	x	x	x	x
輸送機械工業	95.6	92.7	94.7	89.5	△ 5.5	△ 7.7	95.4	92.2	94.1	89.8	△ 4.6	△ 7.2	x	x	x	x	x	x
窯業・土石製品工業	107.6	105.4	109.5	110.1	0.5	5.0	111.1	108.1	111.4	115.3	3.5	10.0	79.0	75.9	106.1	55.3	△ 47.9	△ 40.8
プラスチック製品工業	104.4	98.5	99.0	96.9	△ 2.1	△ 5.1	109.8	99.2	105.2	103.7	△ 1.4	△ 4.5	129.8	177.4	147.2	131.5	△ 10.7	△ 15.4
紙・紙加工品工業	97.8	103.2	94.5	95.9	1.5	1.5	100.2	100.9	92.2	92.6	0.4	△ 1.6	79.1	85.5	85.3	179.4	110.3	121.5
繊維工業	110.7	100.2	98.1	91.7	△ 6.5	△ 18.7	103.5	93.7	83.5	82.4	△ 1.3	△ 19.7	117.3	120.6	138.5	145.8	5.3	23.2
食料品工業	121.2	126.5	114.8	116.0	1.0	△ 1.4	119.0	121.9	115.3	116.3	0.9	0.9	151.4	142.5	137.9	126.9	△ 8.0	△ 7.4
その他工業	94.4	112.9	95.8	99.0	3.3	6.8	89.4	111.3	98.2	98.2	0.0	8.0	89.1	92.3	92.5	93.9	1.5	3.3
家具工業	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
木材・木製品工業	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
その他製品工業	91.5	123.2	100.4	105.3	4.9	16.3	87.4	118.3	102.5	101.8	△ 0.7	13.1	88.4	94.0	91.4	93.3	2.1	5.8
(参考) 機械工業	123.6	115.1	106.0	104.6	△ 1.3	△ 18.4	131.9	120.9	112.3	111.9	△ 0.4	△ 16.9	158.8	166.6	156.2	153.8	△ 1.5	△ 4.3
(参考) はん用・生産用・業務用機械工業	136.4	122.4	103.0	114.6	11.3	△ 17.7	141.4	127.9	114.7	117.1	2.1	△ 19.5	217.9	213.8	192.9	170.8	△ 11.5	△ 17.0

(1) 生産、出荷は各期の平均指数を使用し、在庫は各期の末指数を使用している。

(2) 前年同期(末)比は原指数による。

◎四半期別特殊分類指数

平成27年(2015年)=100 季節調整済指数

	生産指数						出荷指数						在庫指数					
	2018年	2019年					2018年	2019年					2018年	2019年				
	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年	10~12	1~3	4~6	7~9	前期比	前年	10~12	1~3	4~6	7~9	前期末比	前年
	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月平均	月平均	月平均	月平均	(%)	(%)	月期末	月期末	月期末	月期末	(%)	(%)
鉱工業	119.7	115.6	108.1	107.0	△ 1.0	△ 12.3	124.7	118.3	112.4	111.7	△ 0.6	△ 11.4	132.6	135.8	134.0	130.6	△ 2.5	△ 0.3
最終需要財	120.4	115.6	103.4	103.1	△ 0.3	△ 17.7	121.5	116.4	109.9	106.6	△ 3.0	△ 15.6	137.2	136.9	127.2	116.8	△ 8.2	△ 11.0
投資財	123.9	114.7	102.4	100.8	△ 1.6	△ 23.8	126.9	118.5	110.9	105.7	△ 4.7	△ 21.3	145.9	150.9	134.7	118.2	△ 12.2	△ 16.1
資本財	124.3	114.3	98.2	97.9	△ 0.3	△ 27.1	127.9	119.0	108.5	104.0	△ 4.1	△ 23.7	154.1	161.7	137.6	123.1	△ 10.5	△ 15.1
建設財	121.4	118.3	145.9	126.2	△ 13.5	9.9	117.8	114.7	138.4	122.8	△ 11.3	11.6	95.6	89.0	112.4	80.1	△ 28.7	△ 26.4
消費財	110.0	118.2	106.7	108.8	2.0	0.5	106.9	112.9	107.0	108.1	1.0	2.8	115.3	115.4	113.4	114.6	1.1	2.9
耐久消費財	89.9	110.8	95.0	97.0	2.1	4.8	84.4	105.8	95.9	93.4	△ 2.6	5.2	88.5	93.9	93.3	95.5	2.4	7.4
非耐久消費財	116.4	121.0	110.2	112.3	1.9	△ 0.6	113.9	115.0	110.4	112.4	1.8	2.3	141.2	140.2	131.6	131.7	0.1	0.0
生産財	118.8	114.8	118.6	115.6	△ 2.5	△ 0.2	130.6	122.1	118.3	123.0	4.0	△ 2.2	124.5	135.3	141.9	164.9	16.2	30.1

(1) 生産、出荷は各期の平均指数を使用し、在庫は各期の末指数を使用している。

(2) 前年同期(末)比は原指数による。

利用にあたって

- 1 目的 本県鉱工業における生産・出荷・在庫の動向を迅速かつ総合的に把握することを目的とする。
- 2 基準時 平成27年（2015年）
平成31年1月分から基準年を平成27年（2015年）に改定した。
- 3 指数の分類 日本標準産業分類に準拠した「業種分類」と、品目の経済的用途に着目し、財別に格付けした「特殊分類」の2分類による。
「特殊分類」については、次のとおりである。

				分類	定義	
鉱工業 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> 最終需要財 </div> <div style="text-align: center;"> 投資財 </div> <div style="text-align: center;"> 消費財 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 資本財 </div> <div style="text-align: center;"> 建設財 </div> <div style="text-align: center;"> 耐久消費財 </div> <div style="text-align: center;"> 非耐久消費財 </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> 生産財 </div> </div>				最終需要財	鉱工業又は他の産業に原材料等として投入されない最終製品。	
					投資財	資本財と建設財の合計。
					資本財	家計以外で購入される製品で、原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
					建設財	建築工事用の資材及び衛生用陶磁器等の建築物に付随する内装品及び土木工事用の資材。
					消費財	家計で購入される製品
					耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年以上で比較的購入価格が高いもの。
					非耐久消費財	原則として想定耐用年数が1年未満又は比較的購入価格が低いもの。
					生産財	鉱工業及び他の産業に原材料等として投入される製品。企業消費財を含み建設財を除く。

- 4 採用品目 生産指数 111品目 出荷指数 111品目
在庫指数 53品目
- 5 ウェイト 基準年における付加価値額、出荷額、在庫額それぞれについて、鉱工業全体を10000.0とした場合の各業種・品目の構成比である。

6 指数の算出

$$\text{個別指数} = \frac{\text{比較時数量}}{\text{基準時数量}} \times 100$$

$$\text{総合指数} = \frac{(\text{個別指数} \times \text{基準時ウェイト}) \text{の総和}}{\text{基準時ウェイトの総和}}$$

- 7 季節調整 平成27年基準における季節調整は、米国センサス局のX-12-ARIMAを用いている。
季節調整済指数は、季節要因に加え、曜日・祝祭日要因、うるう年要因によっても調整されている。（在庫については、季節要因のみ。）

- 8 寄与度 総合の増減比に対してその内訳である業種や品目の影響の度合いがどれだけあるかを示す。
- 9 年間補正 毎年、前年1年間の数値が確定した段階でさかのぼって原指数、季節調整済指数を再計算し、補正処理を行う。
- 10 留意事項
- ① 本書で掲載している指数値について、生産指数及び出荷指数は四半期の平均値を使用し、在庫指数は期末値を使用している。
 - ② 前期比は、季節調整済指数を使用し、前年同期比は、原指数を使用して計算している。
 - ③ 業種分類による在庫指数のうち、「鉄鋼業」は指数系列として採用していない。
また、「家具工業」「木材・木製品工業」、在庫指数における、「非鉄金属工業」、「汎用機械工業」、「電気機械工業」、「情報通信機械工業」、「輸送機械工業」については、対象事業所が少数のため、指数値を秘匿としている。
 - ④ 本書で使用している略称、符号は次のとおりである。
「Ⅰ」：1～3月期、「Ⅱ」：4～6月期
「Ⅲ」：7～9月期、「Ⅳ」：10～12月期
「生産」：生産指数 「出荷」：出荷指数
「在庫」：在庫指数
「△」：マイナス 「x」：秘匿

2019年第三期(7～9月)分山梨県鉱工業指数
山梨県県民生活部統計調査課 商工業担当
TEL. 055-223-1341
FAX. 055-223-1347
https://www.pref.yamanashi.jp/toukei_2/index.html

この冊子は、再生紙を使用しています。